

ふれあい

2021

12

No.417

牛久愛和総合病院 広報誌



新型コロナウイルス肺炎を重症化させないためにも禁煙治療を受けませんか

総合健診センター 太田 義章



一・新型コロナウイルスとタバコ（喫煙）

新型コロナウイルス感染症

が世界中で蔓延中ですが、タバコを吸っていると新型コロナウイルス肺炎が重症化する危険性があるとの事です。高齢者・持病のある方・肥満者などと共にタバコ（喫煙）もその原因であるとWHO（世界保健機関）は宣言しています。研究によれば新型コロナウイルスは人の気道などにあるACE2受容体という場所から体内に侵入する事がわかっています。このACE2受容体は肺に近い気道の奥にも見られます。この数がタバコを吸っている人では増加し、子どもでは少ない事が解りました。つまりタバコを吸っている人は新型コロナウイルスが気道から体内に入りやすく、

子どもでは入りにくいという事のようです。その為タバコを吸っている人は重症になり易く、子どもは重症になりにくいのではないかと考えられています。

二・タバコとその他の病気との関連

タバコは新型コロナウイルス感染症だけではなく、がん・心臓病・脳血管障害・糖尿病・認知症など多くの病気との関連もわかつています。ぜひ、この機会に禁煙に取り組みませんか。禁煙外来での治療をお勧めいたします。

三・禁煙治療

喫煙習慣の本質は、ニコチン依存症です。ニコチン依存症はタバコを止めたくてもやめられなくなつた状態を言います。

禁煙外来の治療期間は原則12週間で計5回の通院が必要となり、「禁煙治療を行うプログラム」に沿つて進めていきます。まずニコチン依存症に



係るスクリーニングテスト（TDS）、プリンクマン指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）、禁煙の意思表示、治療を受けるための同意を確認し、全ての要件を満たした場合に初めて健康保険の適応となります。喫煙状況を調べる為に呼気一酸化炭素濃度を測定します。治療薬は貼付薬（ニコチネルTTT）又は内服薬（※チャンピックス）の2種類から選ぶことができます。※チャンピックスによる副作用としてピックスによる副作用として認めまい・眠気・意識障害が出る事があるとされています。自動車の運転など、眠気や意識障害が危険に成り得る事は必ず控えてください。

春秋園だより



はやくも一年のしめくくり、師走がやってきました。

今回は、二階フロアにて行われたハロウイン会について紹介します。

まずは、十月三十一日に向けて、フロア全体をハロウイン仕様にしました。利用者様にも手伝ってもらいながら、少しずつ飾り付けを行い、ジャックオーランタンやゴーストたちでにぎやかな雰囲気にして上げました。

そして当日のレクの時間には、ハロウインクイズを行いました。どんな行事か、由来

は何か、などを説明すると、みなさま興味を持つて参加してくれていました。利用者様の年代では、あまりなじみのない行事ですが「今は楽しそうな行事があつていいわね」といった声も聞かれました。

おやつには、南瓜のババロアも登場し、「南瓜が甘くて美味しいね」と笑顔もみられました。限られた中でもハロウインを楽しんで頂けたかと思

います。

今年もコロナ禍以前の様に大規模なイベントが出来ないまま一年が終わろうとしています。しかし決して暗い気持ちにならずに「明けない夜はない」という言葉を胸に前を向いて日々の業務に臨んでいます。一年が終わるうどしていきたいと思っております。来年もよろしくお願ひします。

(春秋園二階スタッフ一同)



部署紹介

A4階病棟

師長 下村 真理子

A4階病棟は、循環器・内科疾患の急性期の患者さんが入院される病棟です。主に、虚血性心疾患や不整脈、心不全症状のある方が入院されています。「責任と継続性のある看護を提供する」ことを病棟目標に掲げ日々看護実践に取り組んでおります。スタッフはいつでもお互いに助け合い協力できる病棟で、活気もあり看護のやりがいを感じています。患者さんとご家族の想いを共有し、チーム全体で協力できるように患者カンファレンスの充実に取り組んでいます。スタッフ間はコミュニケーションも良く図れ、医師や薬剤師、リハビリ療法士、管理栄養士などの多職種とのチーム医療に力を入れています。



D M カ フ エ

糖尿病・代謝内科部長 河邊 聰子



朝晩の冷え込みが身に染みる季節となりました。今回はHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）についてのお話です。糖尿病は高血糖により全身の血管に炎症がおこる病気であり、発熱と同じストレスがかかります。HbA1cは2～3ヶ月の血糖の平均値です。自分のHbA1cに30をたして体温と比較してみましょう。HbA1c 6.0%のとき体温36度となり平熱、安心ですね。HbA1c 8.0%以上のとき38度以上の発熱と同じ状態であり、症状はなくとも体はつらい状態です。HbA1c 10%以上のとき40度以上の発熱となり、入院を考えるレベルです。血糖の乱高下は体温の変動と同じくらいのストレスがかかります。合併症を自覚した時には、とりかえのつかない状態となっています。糖尿病治療中の方は主治医の先生と相談し目標のHbA1cをきめてください。早期発見、早期治療、検査や治療を継続していきましょう。



ショッピング&カフェ ☕



レストラン事業部牛久 係長
池田 恵美

日ごとに寒さが増してきました
売店テラス・ショッピング&カフェでは、そんな寒さに負けない人気商品を販売しております

生食パン (数量限定)

低温長時間発酵による熟成により耳まで柔らかくしっとりとしたパンに仕上げました

奥久慈プリン 琥珀

奥久慈産の濃厚なまごを使用したプレミアムプリン



テラスの生ロール

奥久慈卵を使用したしっとり生地がとろけるような生食感に仕上りました。おすすめ生ロールケーキです

フルーツサンド

特製ホイップクリームにフレッシュな生フルーツをはさんだ断面サンド



おすすめパン レストラン テラスの特製弁当を販売、雑貨や介護用品まで取り扱いいたしております
どうぞお気軽にお越しください。

編集だより

夜空のオリオンも見守るなか、2021年が過ぎ去ろうとしています。皆さんにとって今年はどんな一年でしたか? 寒さも本格的になってまいりましたので、ご自愛専一に、よいお年をお迎えください。
(Y・A)

病院理念

我々は医療全般を基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般 391床 医療療養型 55床 地域包括ケア 43床)

施設

敷地 59,449.60m² 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24 時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

関連施設

- | | |
|--------------------|------------------|
| 総合健診センター | Tel 029-873-4334 |
| 健康増進施設 スポーツリラックス | Tel 029-874-8791 |
| 人工透析センター | |
| 地域リハ・ステーション | |
| 介護老人保健施設 春秋園 | Tel 029-870-3100 |
| ひたち野ステーションクリニック | Tel 029-896-6200 |
| 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 | Tel 029-817-5111 |

診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

- 内 科 (禁煙外来)
- 整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
- 小 児 科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
- 皮 膚 科 (レーザー外来)
- 外 科 (下肢静脈瘤外来)
- ストーマ外来
- そけいヘルニア専門外来
- 透析外来
- 内視鏡検査
- 検診検査 (乳がん検診)

